

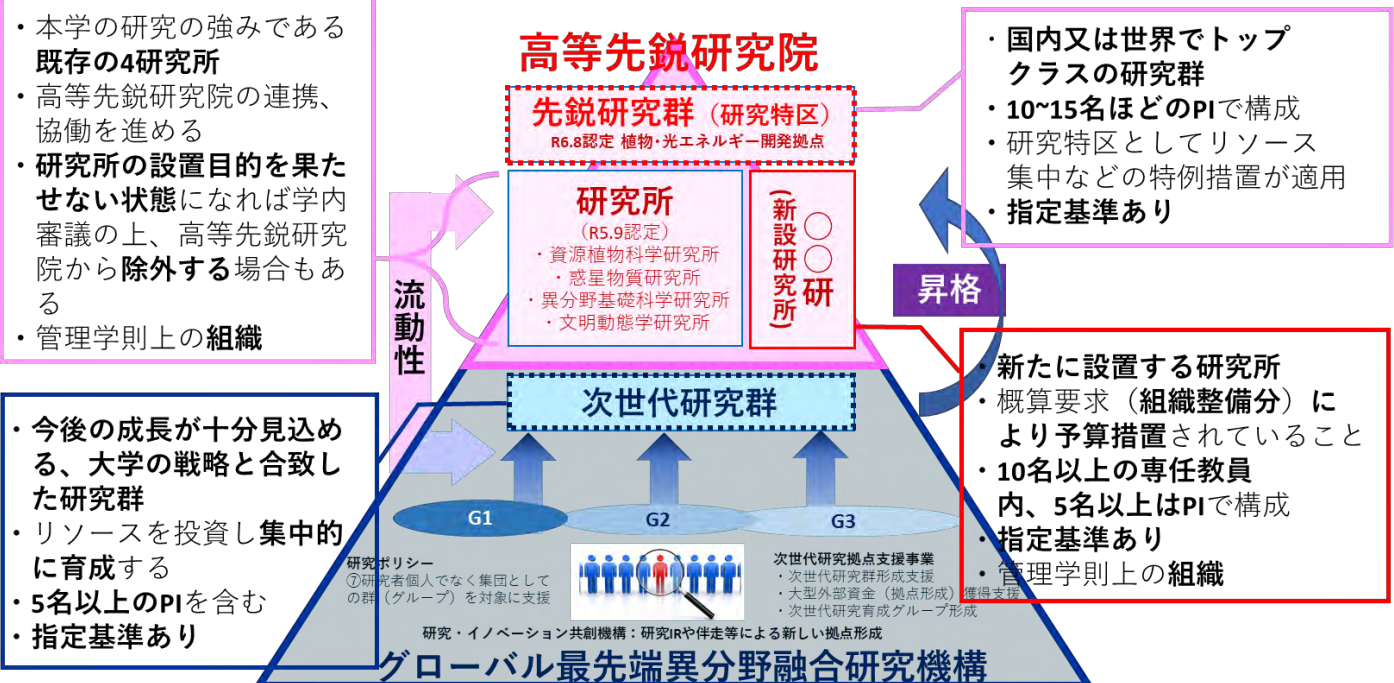
TOPICS
1強みの研究群を構造的に育成する岡山大学
「高等先鋭研究院システム」について

岡山大学長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」の実現のため、J-PEAKS事業では強みの研究群を構造的に育成する仕組みの構築を進めています。

今回は、その具体的な実現施策である本学の「高等先鋭研究院システム」についてご紹介します。

高等先鋭研究院システムについて（概要）

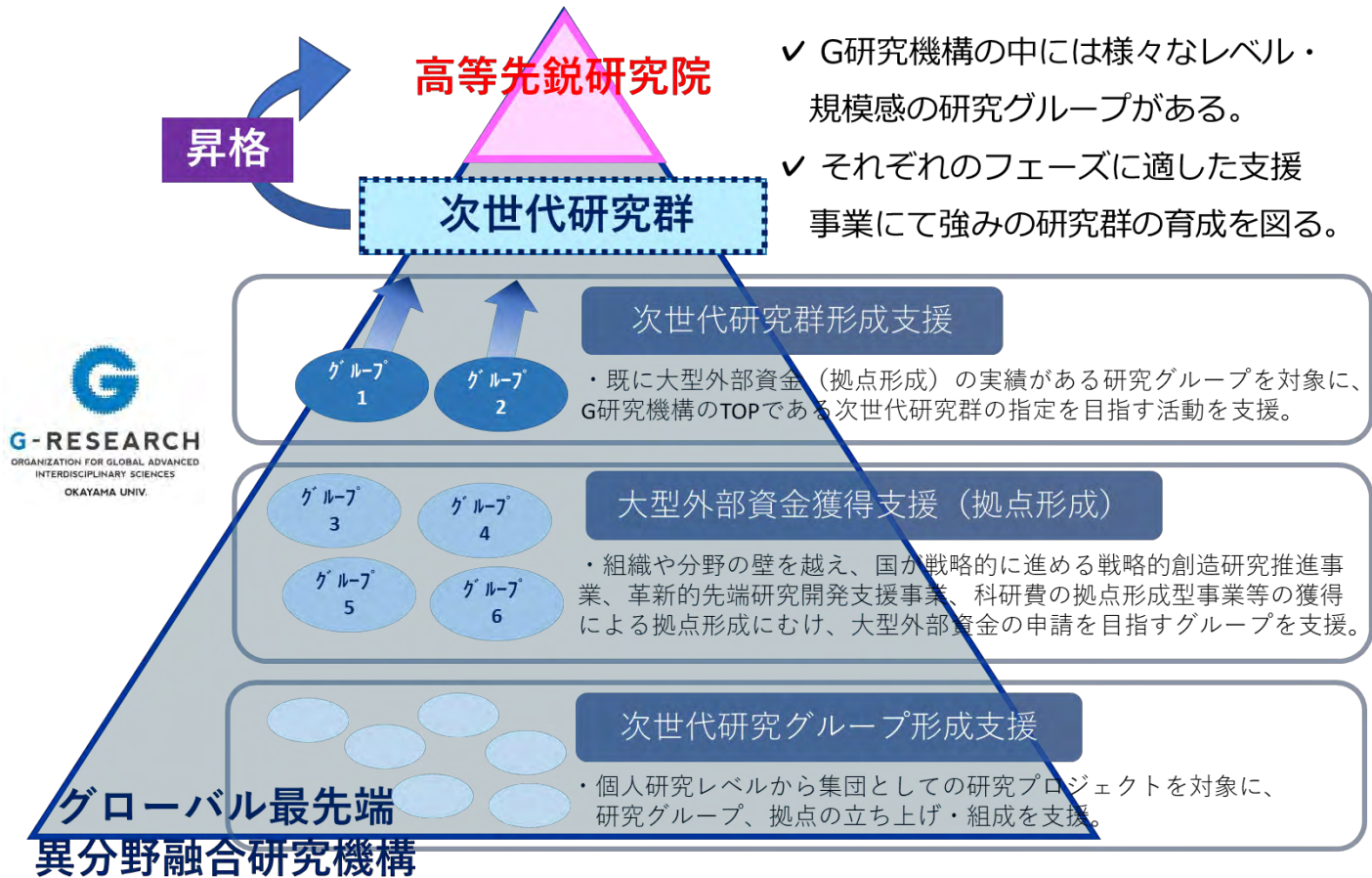
- ✓ 本学の戦略に合致した、強みの研究群を構造的に育成するシステムを構築。
- ✓ 各フェーズに応じた多様なマネジメント・支援メニューを用意。
- ✓ 各フェーズの指定基準を明確化。一定期間毎に再評価し、新陳代謝（入替・流動性）を促す。



本学では、強みの研究群（グループ）を構造的に育成するため、上記のとおり、高等先鋭研究院システムを構築しました。全体を第1レイヤー「高等先鋭研究院」と第2レイヤー「グローバル最先端異分野融合研究機構（G研究機構）」の2階層で構成。第1レイヤーの高等先鋭研究院は、本学を代表する強みの研究領域と位置付け、本学の4つの研究所と、極めて高い研究アクティビティを発揮する国内または世界でトップクラスの研究群である『先鋭研究群』で構成。先鋭研究群は、学内の研究特区として規程の弾力運用や管理的業務の負担軽減など、研究者の研究専念環境の構築を強力に推進します。

第1レイヤーと第2レイヤーは研究IRによる入替制を採用し、研究群の切磋琢磨と新陳代謝（流動性）を促すことを通じ、卓越した研究成果をコンスタントに創出することを目指すわが国初のシステムです。

第2レイヤー グローバル最先端異分野融合研究機構について



高等先鋭研究院システムの土台となる第2レイヤー「グローバル最先端異分野融合研究機構（G研究機構）」では、新たな研究群（グループ）の育成を段階的に進めます。G研究機構には、様々なレベル・規模感の研究グループがありますが、個々の研究者から研究グループの組成を促す「次世代研究グループ形成支援事業」、ある程度の活動実績や規模感を有する研究グループを対象に大型外部資金獲得申請に向けた活動を支援する「大型外部資金獲得支援事業（拠点形成）」、既に大型外部資金（拠点形成）の獲得実績がある研究グループを対象にG研究機構のTOPに位置付ける『次世代研究群』の指定を目指す活動を支援する「次世代研究群形成支援事業」など、研究グループのフェーズに応じた支援メニューを活用し、段階的な育成を促します。

次世代研究群は、今後の成長が十分見込める、本学の戦略と合致した研究群と定義し、指定の基準を明確に決めました。次世代研究群は、他の研究群との融合・協働等を通じ、第1レイヤーの「高等先鋭研究院」に昇格することを目指します。

○那須保友学長のコメント

第1レイヤーの先鋭研究群については、早々に指定基準等も整備し、研究IRを用いた厳格な審査の上、『植物・光エネルギー開発拠点』を2024年8月に指定、精力的に活動をスタートしています。

この度、第2レイヤーの次世代研究群の指定基準を定めたことにより、**小さな研究グループの芽から世界TOPクラスの研究拠点まで育成する『高等先鋭研究院システム』の全域が整いました。**

わが国初の挑戦である本システムを活用し、強みの研究群の育成を全学を挙げて、戦略的に推進します。どうぞご期待ください。



TOPICS
2

大学発スタートアップの創出に向け、研究者と経営人材のマッチングワークショップを開催

本学は株式会社エル・ティー・エスと共同で、大学発スタートアップの創出に向けて、研究者と経営人材のマッチングを図るためのワークショップを開催しました。

本ワークショップは研究者と専門的な経営スキルや市場理解を有する経営人材を結びつけることで、研究者が持つ先端技術や研究成果の事業化プロセスを加速することを目的としています。

本学は今後も、大学研究シーズの事業化を図り、地域や国際社会におけるイノベーション創出に尽力します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13777.html

TOPICS
3

本学参画の関係人口創出に向けたDAO(分散型自律組織)プロジェクトが島根県海士町・広島県三原市で始動

島根県海士町と広島県三原市で、DAO(分散型自律組織)プロジェクトが開始されました。本プロジェクトには、学術研究院環境生命自然科学学域の野上保之教授らを中心に、10人を超える岡大DS(データサイエンス)部の学生や卒業生が参画し、HiroshimaWeb3協会や地元自治体、他大学と連携しながら、DAO構築の技術支援や運営実証に取り組めます。

J-PEAKS事業の一環であり、地域課題解決に向け、学生を起点とするイノベーション創出活動を推進します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13772.html



海士町のアプリ(イメージ)
(Hiroshima Web3協会HPより引用)

TOPICS
4

J-PEAKS事業で医学部保健学科の学生が企業と意見交換 タッチペンをより使いやすく

三菱鉛筆関西販売株式会社の協力のもと、医学部保健学科検査技術科学専攻に所属する学生が、利用者が使いやすいデジタルタッチペンについて、同社とともにディスカッションを実施。デジタル田園健康特区である吉備中央町で開催された「わっしょい和んさか吉備高原フェスタ」に参加した学生らが、高齢者がスマートフォンをうまく操作できない点などから実施。住民主体のテクノロジーのあり方などについて議論し、今後の取組の推進材料としました。

本学はJ-PEAKSで学生とともに地域住民の方々が抱える課題をデジタルの力で解決する取組を実施しています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13770.html

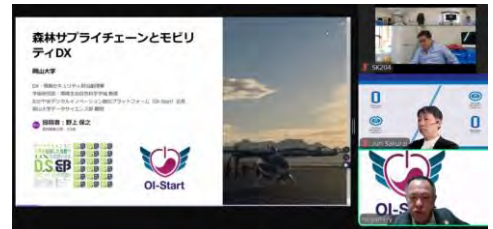
TOPICS
5

「共生型連合体」の第1回個別ミーティングを開催～国家戦略特区における大学群が協働して社会変革を推進～

「共生型連合体」の第1回個別ミーティングをオンラインで開催しました。本ミーティングは9月11日に開催したキックオフミーティングに引き続いて行われたもので、大学間で地域課題の解決と技術革新に向けた方向性を共有することを目的としています。議論の中では、地域課題に即したDXプロジェクトの展開、人材育成・活用モデルの構築等のテーマが挙げられました。

本学では共生型連合体(筑波大学、山梨大学、大阪大学)によるWell-being社会を強力に推進します。大学の力による地域住民中心の社会変革にぜひご期待ください。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13848.html



共生型連合体

TOPICS
6

岡山大学病院のロボット手術件数内訳で泌尿器科が最多の症例数 年間手術件数は国立大学病院ランキングで1位

岡山大学病院には全国有数の低侵襲治療センターがあり、岡山県内・県外から多くの患者がロボット手術目的で来院されて手術を受けています。同院では2010年に国立大学病院で初めてロボット手術を導入し、泌尿器科で前立腺がんの手術を実施。現在泌尿器科領域では8種類の術式でロボット手術が保険適用となり、新規手術を次々導入し、手術件数も増加しています。

2023年国立大学病院でのロボット手術件数全国1位(587件)、泌尿器科領域の件数が最多でした(184件)。

今後も地域の中核医療を担う本病院にご期待ください。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id1305.html

岡山大学病院
OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL

1870

TOPICS
7

総合技術部&PMI日本支部「プロジェクトマネジメント基礎研修」を終了～技術職員と事務職員を高度化する観点からプロジェクトマネジメントのスキルを学ぶ～

本学総合技術部は、PMI日本支部とともに「第3回プロジェクトマネジメント(PM)基礎研修」を開催しました。

本研修はプロジェクトマネジメントの能力を育成し、その能力を自身が有する技術ノウハウと融合することで、「技術」から研究開発イノベーションをマネジメントできる技術職員の育成を進めることなどを目的としています。

研修で学習したプロジェクトの実行プロセスを遂行するために必要な手段、計画と実行プロセスを監視・コントロールする手法を取り組みに生かします。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13808.html



TOPICS
8

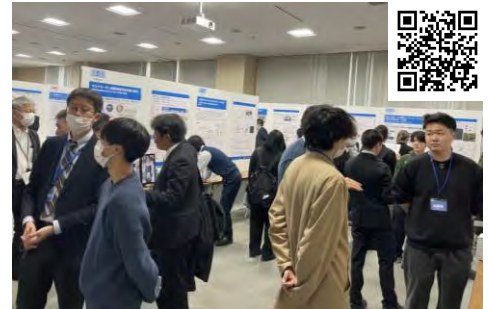
岡山大学R&D Showcaseを初開催！～Community Healthの実現に向け、研究シーズと取り組みを発表～

本学研究・イノベーション共創機構は、「岡山大学R&D Showcase」を本学津島キャンパスで初開催しました。

本イベントは、研究者や学生が自らの研究成果を企業などのニーズ側に発信するとともに、産業界や地域社会との新たな連携を築く場として企画したもので、社会変革を推進するための“新結合”を促すひとつの取組です。

本イベントをきっかけとして、多様なステークホルダーらとのつながりをさらに深め、地域社会や産業界と協力して新たな価値の創出、実装を着実に進めます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13816.html

TOPICS
9

高尾知佳講師、徳増一樹助教、大原利章助教に岡山大学「研究准教授」の称号を付与

高尾知佳講師、大原利章助教、徳増一樹助教を「研究准教授」として選任し、称号付与式を開催しました。

本学では、研究力強化促進と若手研究者育成などの点から、全学を挙げて優れた研究業績を有する研究者の支援を実施しています。そのひとつとして研究者が独立した研究代表者(PI: Principal Investigator)として活躍促進するために「研究教授」「研究准教授」の称号付与と研究費配分や研究活動の充実などのインセンティブ制度を2018年度から実施しています。

今後も若手研究者らの活躍にご期待ください。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13845.html

TOPICS
10

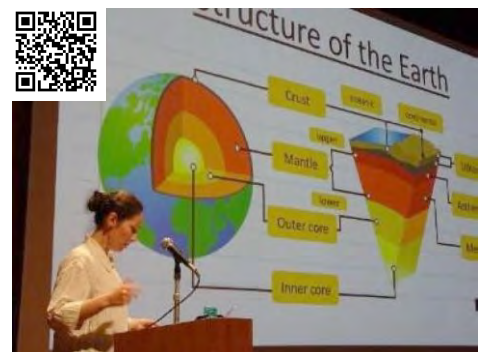
総合技術部研究発表会2024～サイテックコーディネーターとの融合：機器共用のさらなる前進と研究パフォーマンス向上へ～

本学総合技術部と研究・イノベーション共創機構は、機器共用に関する認識を深め、博士人材であり主に機器共用に専従するサイテックコーディネーター(SC)との相互理解や技術職員のスキルアップ・研鑽の場となる「総合技術部研究発表会2024」を開催しました。

J-PEAKS事業では、技術職員の高度化や機器共用の強化促進を戦略的に実施しています。

発表会では、SC・技術職員が登壇し、研究内容や機器共用に関する業務、取組事例等を発表。発表者と研究者あるいは技術職員間の新たな交流の契機ともなりました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13809.html



TOPICS
11

科学に触れ、研究の世界を身近に感じてもらう「異分野Lab」を開催

岡山大学起業部は、科学に触れる機会を提供し、研究の世界を身近に感じることを目的とした「異分野Lab」を開催。研究の世界を広げることに取り組む研究者・学生がそれぞれの活動について発表。自らの技術を幅広く社会に届けるために起業した経緯や研究成果の社会実装の重要性、専門性を磨くことの大切さや、そのために博士課程に進学の意義などについて話題提供し、科学のおもしろさ、キャリア形成などについて、議論が白熱しました。J-PEAKS事業で若手研究者を育成し、その研究成果や技術を社会に届けつづけます！参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13866.html

TOPICS
12

佐藤法仁副理事・副学長・上級URAが日本工学アカデミーに選出～岡山県で唯一、URA職としてわが国初～

佐藤法仁副理事(研究・産学共創総括担当)・副学長(学事担当)・上級URAが、これまで歩んできた産学官における多様なキャリアの実績、業績等が高く評価され、公益財団法人日本工学アカデミー(EAJ)会員に選出。岡山県唯一のEAJ会員であり、URA(リサーチ・アドミニストレーター)職としての会員選出は、わが国初となる快挙です。

今後、地域中核・特色ある研究大学：岡山大学として、EAJの活動とも連携するとともに、高度な専門人材の育成・輩出に積極的に取り組みます。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13815.html

イチオシの研究設備

3次元光学プロファイラーシステム

3次元光学プロファイラーシステム「Zygo NewView 7300」は、サンプル表面の三次元形状を走査型白色光干渉技術により0.1ナノメートルの垂直分解能で高速測定し、滑面、粗面、平面、円筒面、球面、傾斜面および段差を含む広範囲の表面の測定結果を高解像度でカラーグラフィックス表示するとともに、表面性状を多彩なパラメータにより定量的に解析評価する装置です。半導体ウエハやレンズ、ミラーなどの光学部品の表面評価にはもちろん、成膜あるいはMEMSや機能表面生成のためのマイクロ表面加工の評価など幅広い分野の表面形状測定・解析評価にご活用ください。



Zygo NewView 7300

研究設備機器共用システム「コアファシリティポータル(CFPOU)」から詳細を閲覧できます。

J-PEAKSの取組として、大型分析装置等の中四国の機器共用ネットワーク拠点の構築や、先端設備の整備、技術人材の高度化等を通じて、イノベーション創出の「知」と「技」のメッカを目指しています。

岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

J-PEAKS

本装置や共同利用の設備に関するお問い合わせはこちら：cfp@okayama-u.ac.jp

参考 <https://corefacility-potal.fsp.okayama-u.ac.jp/equipment/view/78>

